

日本病院薬剤師会 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師、妊婦・授乳婦専門薬剤師の先生方へ
(研究に関する情報)

日本病院薬剤師会 学術第三小委員会では、下記の研究を実施しております。

つきまして、対象となる妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師、妊婦・授乳婦専門薬剤師の先生方に、認定者一覧の臨床研究への利用についてご理解、ご協力をお願いいたします。

この掲示によるお知らせの後、情報の使用を許可しない旨の、ご連絡がない場合においては、研究へのご理解をいただいたものとして実施します。

なお、個人が特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、研究の実施により、あなた、またはあなたのご家族・ご親族等の個人情報が流出することはないと考えております。

また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報を提示することはありません。

先生方におかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、お問い合わせ先まで、ご連絡ください。

① 研究課題名	周産期医療における病院薬剤師の業務実態と医療貢献に関する調査・研究
② 日本病院薬剤師会 臨床研究倫理審査委員会承認番号	
③ 研究期間	実施許可日～西暦 2027 年 6 月 30 日まで
④ 研究の目的	本研究では、日本病院薬剤師会が認定する妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師、および妊婦・授乳婦専門薬剤師の基本統計を行うことにより、本邦の医療施設におけるその普及実態を解明し、周産期医療における当該領域に専門性を持つ薬剤師の医療貢献を推察するための基礎データ創出を目的としています。
⑤ この研究の対象となる方	2024 年 10 月 1 日時点での妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師の認定者 2024 年 4 月 1 日時点での妊婦・授乳婦専門薬剤師の認定者

⑥ 研究の方法	この研究では、妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師または妊婦・授乳婦専門薬剤師が、本邦の分娩施設、周産期母子医療センター、特定機能病院等の周産期医療に関連する病院にどの程度の割合で在籍しているのか、それぞれの都道府県にどの程度の割合で在籍しているのか等の普及状況を集計・解析します。
⑦ 利用する情報	所属都道府県、所属都道府県の年間出生数、所属都道府県の日本病院薬剤師会会員数、所属施設、所属施設の特性（分娩取り扱いの有無、周産期母子医療センターの指定、赤ちゃんに優しい病院の認定、妊娠と薬情報センターとその拠点病院の指定、および特定機能病院の指定）
⑧ 他機関への臨床情報の提供	本研究の実施にあたり、他の研究機関に臨床情報が送付されることはありません。
⑨ 臨床情報の管理責任者	管理責任者氏名：畠山史朗
⑩ 臨床情報を利用する者	研究責任者氏名：畠山史朗 分担研究者氏名：赤阪未来、岩佐千尋、小澤秀介、菊池大輔、杉浦あゆみ、三木陽介
⑪ 臨床情報の利用停止について	いつでも、この研究にあなた自身、またはご家族やご親族の方より情報を使用しないよう求めることができます。研究への参加を認めなかったとしても、あなたに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人（ご家族、ご親族を含む）の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。 ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。
⑪お問い合わせ先	<p>【当院への問い合わせ先】 独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 〒701-1192 岡山市北区田益 1711-1 TEL：086-294-9911（病院代表） 当院責任者：薬剤部 赤阪 未来</p> <p>【研究代表施設の問い合わせ先】 東北医科薬科大学病院 〒983-8512 宮城県仙台市宮城野区福室 1-12-1 TEL：022-259-1221 E-mail：s.hatakeyama@hosp.tohoku-mpu.ac.jp 担当者氏名：畠山 史朗</p>

以上